
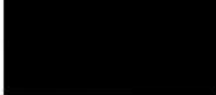



放射線科画像診断報告書

(診療情報提供書)

患者ID		検査	CT	3F 西
NAME		依頼医	院内 脳神経外科  先生	
年齢	70Y	放射線科		
性別	F	備考	住所・電話番号・診断名	
検査日	2011年04月20日		紹介目的・既往歴・家族歴	

<臨床情報>

シャント再建術直後

<画像所見>

頭部CT

前回検査2011年4月1日と比較しています。

左前頭葉の皮質に軟化が認められ一部で皮質の欠損と皮質下白質の濃度低下が認められています。骨に術後の所見が認められ同部の脳梗塞後などを疑います。既往と照らして下さい。

右頭頂葉から右側脳室にshuntが形成されています。左右側脳室前角に軽度拡張の所見が認められ2月24日に比べてやや側脳室のサイズは大きい印象です。VPshuntが形成されており減圧療法後の所見と考えますが脳室のサイズについてフォローアップとして下さい。shunt 穿刺領域に出血を疑わせる所見は明らかではありません。

橋右側に円形の低濃度領域が認められています。4月1日でもほぼ同等に同定されており陈旧性脳梗塞後の所見と考えますが臨床情報加味して下さい。

肝臓表面に軽度起伏の所見が認められshunt形成後に伴う所見と考えます。腹腔内脂肪組織の不整な濃度上昇は明らかではなく腹水の貯留は明らかではありません。広範な腹腔内の炎症を疑わせる所見は明らかではないと考えますが起伏のサイズ/形態についてフォローアップとして下さい。

胆嚢は摘出後と考えます。既往御確認下さい。総胆管に軽度の拡張が認められますが術後に伴う所見と考えます。

左右腎臓/左右副腎/膵臓/脾臓に病変を疑わせる所見は明らかではありません。

上腹部/傍大動脈/骨盤内リンパ節に病的な腫大は明らかではありません。

結腸に病変の所見は明らかではありません。

子宮筋層後壁背側左側に直径24mm大の楕円形の低濃度領域が認められています。子宮筋腫などを疑いますが婦人科症状も加味して下さい。

膀胱壁はびまん性にやや厚い印象です。尿検査の所見と照らして下さい。

<Impression>

左前頭葉は術後/外傷後と考えます。

VPshuntが形成されています。Shunt 穿刺領域に出血を疑わせる高濃度領域の所見は明らかではありません。

左右側脳室のサイズは4月1日と同等と考えますがやや拡張している印象です。形態についてフォローアップとして下さい。

軽度起伏の所見が認められshunt形成術後に伴う所見と考えます。

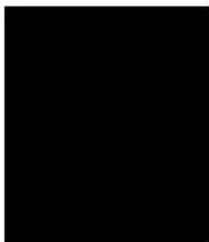
子宮筋層後壁に低濃度領域が認められ子宮筋腫を疑います。婦人科症状も加味して下さい。

膀胱壁はびまん性にやや厚い印象です。膀胱炎について尿検査の所見と照らして下さい。

別紙の参照画像をご覧下さい。

読影医: 土木 正 印 報告日: 2011/4/21

患者ID
患者名



検査日 2011年04月20日 3F 西
依頼医 院内 脳神経外科 [redacted] 先生

NAME

備考

年齢 70Y

性別 F

検査 20

参照画像

